

いけばなにみる日本文化

鈴木榮子著

明かされた花の歴史

▶ 四六判・350頁／定価2,730円 (税5%込)

【好評につき増刷 2011年6月中旬出来】

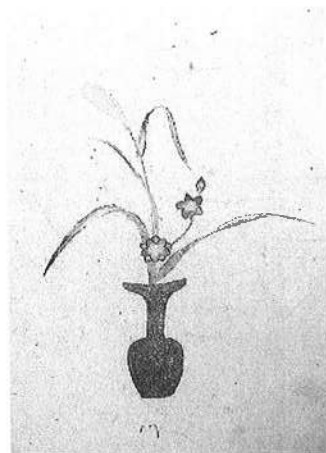
古代の供花から現代のいけばなにいたるまで、日本文化に一貫して継承されてきた精神とは、「生」への意識すなわち生命を尊ぶ思想である——

"お稽古事"としてとらえられがちで、外形の歴史にしか注目されてこなかったいけばな。その精神にはじめて学問的な光をあて、

日本文化という大きな枠組みの中でとらえる。元国際線スチュワーデスであり、外国人向けの「英語でいけばな」教室を主宰する著者が、時間の経過、流派の差異を超え、いけばなに継承される精神を探る試み。 **図版多数掲載**



小原流『文人調いけばなⅡ』より
石榴 あじさい 暖竹



藤掛以水『華伝書』より

内容目次

立てる

第一章 供花の日本化

伝来当初の華美／「十六羅漢像」に描かれる
供花／「平家納経」にみられる「生」の意識
／供える花から飾る花へ

第二章 立花

「立てる」と「挿す」／座敷飾における植物の
飾り／たて花／『山科家礼記』にみられる植
物／植物の精霊／『看聞日記』にみられる「生」
の意識／『専応口伝』の思想／立花の型

いける

第三章 抛入花

「いける」／『抛入花伝書』の「いける」精神／
中国の文人趣味／『瓶史』の精神と文人生け

第四章 芸道としてのいけばな

花道の成立／禅と芸道／『槐記』にみられる
芸道の精神／『槐記』に記された花／抛入花
の独創／千葉龍卜の思想／花道としてのい
けな／生花(せいか)／水揚げへの関心

第五章 世間からみる立花・いけばな

『西鶴織留』に描かれる立花／『女重生記』

継承する

第六章 盛花

小原雲心の自然盛花／盛花の展開／山根翠堂の
自由花／重森三玲の挿花芸術論／挿花芸術論の
考察／挿花芸術論の展開

第七章 戦後の花道界

戦後復興と前衛挿花／展覧会と流派

第八章 考察「いけばなにみる日本文化」

いけばなの展開まとめ／いけばなに継承される
もの／いけばなの役割

表一 『山科家礼記』にみられる植物に関する記述
表二 史料から窺える
三者(阿弥系・久守系・池坊)の「花」

すずき・えいこ…西宮市出身。短大入学と同時に花嫁修業として小原流いけばな入門。卒業後、日本航空国際線客室乗務員。結婚退職後カナダ・アメリカ滞在を経て広島に帰国。1983年から「英語でいけばな」クラス開講。国内外生徒を指導する中で、いけばなとは何かと疑問をもつ。慶應義塾大学にて再修学、2006年宝塚造形芸術大学大学院(当時)にて芸術学博士学位取得。現在、広島大学・広島女学院大学・宝塚大学大学院などで非常勤講師も勤める。いけばなクラスにおける活動範囲は幅広く、それらをホームページにて紹介中。http://www.hbs.ne.jp/home/suzuki/

思文閣出版

〒606-8203 京都市左京区田中関田町2-7 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版 (京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	いけばなにみる日本文化 本体2,600円 (税別)	ISBN978-4-7842-1557-7
お名前		tel	
		e-mail	
ご住所	〒		
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料400円を現品と引き替えにお支払い下さい)		
			書店番線印

ジャポニスム入門

ジャポニスム学会編

ジャポニスムは19世紀後半から20世紀前半にかけて西洋のほぼ全域にわたった。従来あまり紹介されなかった地域も含め各国別の個性的な展開を読み解き、さらに建築、音楽、写真、モードという絵画・工芸以外の分野をも射程に入れ、ジャポニスムの全体像に迫ろうとした。

▶A5判・288頁／定価2,940円

ISBN4-7842-1053-9

百人一首万華鏡

白幡洋三郎編

日本人の生活全般にわたって深い関わりをもつ百人一首を、歌の解釈はもとより、歴史、選び方、カルタ、翻訳など、さまざまな角度から紹介し、その文明的広がりをさぐる。それぞれのテーマにそった版本、各種カルタ、翻訳本など、カラー口絵(16頁)収録。

▶B5判・178頁／定価2,520円

ISBN4-7842-1223-X

祈りの文化 大津絵模様・絵馬模様

信多純一著

江戸時代から現在まで近江大津追分にて作られ、手軽な土産として全国津々浦々の人々に愛された民画・大津絵。その起源・絵馬との共通点・画題の意味などを多くの図版をあげて解説した大津絵事典。【内容】大津絵／藤娘のルーツ／絵馬／大津絵の種類／大津絵の時世粧 他

▶B5判・170頁／定価3,675円

ISBN978-4-7842-1425-9

中世蹴鞠史の研究 鞠会を中心に

稻垣弘明著

室町期以降の蹴鞠会の挙行形態の歴史を体系的に論じた一書。特に15世紀後半において新興武家層を参会者として加えた場より遊興性を加味しながら変容し、「故実」に代わって「新儀」が定着すること、それが近世の家元制度の萌芽と認められることなどを明らかにした。

▶A5判・300頁／定価5,775円

ISBN978-4-7842-1390-0

風俗絵画の文化学 都市をうつすメディア

松本郁代・出光佐千子編

中世から近世における風俗絵画のメディア性に着目し、そこに描かれなくなったものの持つ意味や享受者の視点、都の社会における聖と俗の姿、風俗絵画に表された芝居空間や行事のかたちを年代とともにどのように姿を変えたのか、など様々な視点からアプローチする。

▶A5判・368頁／定価6,825円

ISBN978-4-7842-1469-3

花道古書集成 [全5巻]

華道沿革研究会編

本書は、初期東山時代の代表的秘伝書をはじめ、江戸初期、中期の諸流祖の花道書から幕末に至る主な花道書を取録し、大日本華道会より昭和5年に刊行されたものの復刻。貴重な文献と作例図により生花の歴史・理論・技法の真髄に触れることができる。

▶A5判・3400頁／定価33,600円

ISBN4-7842-0087-8

本能寺史料 中世篇

藤井学・上田純一・波多野郁夫・安国良一編

中世から寛永期までの文書266点および附録、既刊『本能寺史料』に漏れた近世文書を補遺として収録。宗祖日蓮上人・開山日隆聖人の書状類をはじめ、寺地の変遷に関する史料、天文法難・永祿盟約など京都の法華宗の動向を伝える文書、本能寺法度などを収録。

▶A5判・426頁／定価15,750円

ISBN4-7842-1305-8

隔葉記 [全7巻/本篇6冊・総索引1冊]

本篇・赤松俊秀校訂／総索引：『隔葉記』研究会編

鹿苑寺住持鳳林承章が寛永12(1635)年から寛文8(1668)年までの33年間に渡って書き継いだ自筆日記で、近世の日記の中でも一級の記録を活字化。

※総索引は分売可

▶A5判・平均700頁／定価73,500円

ISBN4-7842-1311-2

壁紙のジャポニスム

松村憲理著

欧米に渡った日本の装飾紙の調査、後に大きな影響を与えたシェノーの日本美術論も踏まえ、19世紀後半から20世紀前半にわたる壁紙のジャポニスムをそのデザインの具体例にそってさぐる。【内容】エルネスト・シェノーの提言／海外に渡った和紙と欧米人の和紙観 他

▶A5判・288頁／定価3,360円

ISBN4-7842-1098-9

＊花洛(みやこ)のモード きものの時代

京都国立博物館編

京都国立博物館特別展図録の増補決定版。「きもの」の美とはなにか―桃山から江戸時代を通じて服飾の中心となった「きもの」に焦点をあて、当時ファッションの発信地であった京都で人々が何を装い、どのような美を求めたかを豊富な図版を通してその諸相をあかす。

▶A4判・550頁／定価26,250円

ISBN4-7842-1072-5

没後220年 蕪村

逸翁美術館・柿衛文庫編

南画・俳諧、さらに俳画の大成者として輝かしい足跡を残した与謝蕪村(1716-83)の没後220年を記念し逸翁美術館と柿衛文庫が共同編集。南画・俳画・草稿・短冊・俳書・書簡など新出作品も含め全176点を解説を付してカラーで収録。書簡については巻末に翻刻・解説を併載。

▶A4判・210頁／定価2,310円

ISBN4-7842-1162-4

翁の生成 渡来文化と中世の神々

金賢旭著

中世の翁信仰の生成過程を諸縁起や史料から読みとり、そこに色濃く反映された韓半島からの渡来文化の姿を見だし、さらに日本芸能のルーツである翁猿楽の成立についても韓半島のシャーマニズム文化の影響を指摘。

▶A5判・256頁／定価5,250円

ISBN978-4-7842-1411-2

祭りのしつらい 町家とまち並み

岩間 香・西岡陽子編／京極 寛写真

祇園祭・天神祭をはじめ、城端(富山県)や倉敷など各地の祭り飾りや造り物などをとりあげ、町家とまち並みを飾る祭りの文化を紹介。

【内容】座敷を飾る／屏風祭の戦後60年／祭りの住文化とまちづくり／都市祭礼の最前線など

▶B5判・224頁／定価2,310円

ISBN978-4-7842-1360-3

続花道古書集成 [全5巻]

続花道古書集成刊行会編

先の『花道古書集成』が古刊本中心であるのに対し、今回は未刊の古写本に重点をおき続篇をおくる。花道草創の室町時代初期から各流各派成立、爛熟の時期江戸時代末に至る秘伝、稀覯本を網羅し、中でも「華厳秘伝之大事」「極儀秘本大巻」「雲の上」などは特筆すべきである。

▶A5判・2710頁／定価36,750円

ISBN4-7842-0088-6

＊花みる心 [全2巻]

浅井敬太郎著

花卉園芸学の権威であり、美学・歴史学にも造詣深かった著者が40年にわたり「華道」「未生」「園芸新知識」「自然と盆栽」「京都園芸」等の雑誌に発表した論文・随筆を一堂に収める。華道・茶道・園芸・植物学を学ぶ人々に。

▶菊判・総800頁／定価8,820円

ISBN4-7842-0205-6

隔葉記 総索引

『隔葉記』研究会編

『隔葉記』全6巻の膨大な情報を索引として刊行。人名(8000)・事項(8800)・社寺名(550)・地名(500)に分けて編集。人名索引は別称・異称・官位官職・寺院名・姻戚・師弟関係・居住地や鳳林・校注者の誤り等を併記。事項索引には陶磁器・園芸・建築・書画などの諸分野の項目を収録。

▶A5判・760頁／定価14,700円

ISBN4-7842-1312-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。